

平成18年10月教育委員会定例会会議録

付議事項

議案第32号 和歌山県立近代美術館協議会委員の委嘱（案）について

藤井文化遺産課長から、任期満了に伴う新たな和歌山県立近代美術館協議会委員の委嘱（案）についての説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第33号 「きのくに教育賞実施要綱」の制定（案）について

西原小中学校課長から、従来の和歌山県教育研究奨励賞に替わるものとして、新たに「きのくに教育賞」を設けたい旨の説明があった。賞の概要は、特に優れた教育実践を行い、成果を上げていると認められる者を表彰し、「きのくに教育の匠」の称号を与えて登録するというものである。委員からは賞の活用方法についての質問が出され、課長から、受賞者は様々な分野における優れた実践者であるため、研修会や模範授業の講師を依頼するなど、この賞を通じて教育の振興に寄与できるようにしたいとの回答があった。また、委員から、人材活用の面に加え、人事評価の面でも効果的に運用して欲しいとの意見が出され、課長からは、内外からこの賞が高く評価されるよう努めたいとの回答があった。以上の審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第34号 平成18年社会教育功労者表彰（文部科学大臣表彰）候補者の推薦（案）について

勝丸生涯学習課長から、ガールスカウト運動に永年携わり、青少年の健全育成を通じ社会教育分野において功績のあった1名を推薦したい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

議案第35号 平成19年度和歌山県立高等学校生徒募集定員（案）について

岸田県立学校課長から、平成19年度和歌山県立高等学校生徒

募集定員（案）について、少子化の影響により中学校卒業予定者数が減少するため、前年度から6学級・240人を減じたい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。